

2013 年度 入学 試験 問題

世界史 B

(試験時間 13:15~14:15 60分)

1. この問題は、入学願書提出時に選択した科目の問題です。科目名を確認のうえ、解答してください。
2. 解答用紙は、記述解答用紙とマーク解答用紙の2種類がありますので注意してください。
3. 解答は、必ず解答欄に記入してください。なお、解答欄以外に書くと無効となりますので注意してください。
4. 解答は、HBの鉛筆またはシャープペンシルを使用し、訂正する場合は、プラスチック製の消しゴムを使用してください。特に、マーク解答用紙には鉛筆のあとや消しくずを残さないでください。また、折りまげたり、汚したりしないでください。記述解答用紙の下敷きにマーク解答用紙を使用することは絶対にさけてください。
5. 解答用紙には、受験番号と氏名を必ず記入してください。
6. マーク解答用紙の受験番号および受験番号のマーク記入は、コンピュータ処理上非常に重要なので、誤記のないよう特に注意してください。

I 次の文章を読んで、下記の設問に答えなさい。(34点)

人類の歴史は闘争の歴史でもあり、異民族などとの争いに備えて城が作られた。

古代における最も初期の城は、オリエントに見られた城塞都市であった。前17世紀半ばにヒッタイトが建てた王国の首都は、その周囲を二重の城壁で囲まれ、その内部には複数の王宮や砦、また国民の住居地域があったと言う。また青銅器と楔形文字を発展させたと言われる [A] 人の都市国家ウルは、巨大な聖塔のジググラトを内部に備えていたとされる。地中海で生まれたギリシア・ローマの文明は、これらオリエントの技術を受け継ぎ、独自の様式の城砦を生み出していった。[B] が発掘したミケーネのアクロポリスは、巨大な石材による堅固な城壁に囲まれていた。アテネのアクロポリスには、アテネの守護神アテナを祀ったパルテノン神殿などがあり、市民が住む周囲の市街地は、アクロポリスと同様、堅固な城壁で守られていた。

オリエントから発生し、ギリシア・ローマにおいて発展した城砦建築の技術は、中世初期のヨーロッパにおいては、南下したゲルマン人によって西ローマ帝国が5世紀に滅亡する中、一時衰退の道をたどった。

このような状況を一変させたのが、ノルマンディー公ウィリアムによる、1066年のノルマン征服であった。ウィリアム1世は、反乱の危険を防ぐため、各地に城砦を築いた。彼が作り上げたモット・アンド・ベリー形式の城(人工的な丘の上に築かれた木製の城)は、ローマなどの城砦都市に比べごく小規模のものであったが、国を治める重要な拠点となった。ウォーリック城などが有名である。12世紀になると、モット・アンド・ベリー形式を発展させた、シェル・キープ形式の城が築かれるようになる。この形式では、円筒状の広い石造のキープ(天守)を備え、空間が広く利用できるように工夫されていた。代表的なものとして、ドラム城やワーク・ワース城がある。また矩形のキープを、城壁に囲まれた敷地の中央に配置するレクタングュラー・キープ形式の城砦も見られ、ウィリアム1世が11世紀後半にイングランド統治の重要拠点の一つとして構築したロンドン塔もその一つである。またプランタジネット朝の初代の王 [C] が高度な城砦へと整備したと言われるドーバー城も、この形式の城である。

⑥ 十字軍の遠征の中、独自の発展を遂げた中東の建築様式を見たヨーロッパ人は、コ

ンセントリック型城砦を作り上げていく。外側の低めの城壁と、内側の高めの城壁を重ね、内側の城壁や城壁の角に円筒状の塔を設ける堅牢なものであった。模範議会を開催したことも名高い、イギリスの王 D が北部ウェールズの支配権確立のために築いたボーマリス城などがある。その後、高い水準の築城技術は、ヨーロッパ各国で独自の発展を遂げていく。ドイツでは、細長い天守を持つマリエンベルク城などが作られ、イベリア半島では、イスラム文化とまじりあいマンサナレス・エル・レアル城などができた。

13世紀に一応の完成を見たヨーロッパの城砦であったが、14世紀に入ると、城砦は防衛能力よりも、快適な居住性や美しい装飾が求められるようになり、王の権力や富を象徴するための宮殿へと姿を変えていく。フランスの E 朝のフランソワ1世が築いた、ルネサンス式宮殿のシャンボール城は400以上の部屋を持つ巨大で豪華な城であった。また、ルイ14世が完成させた F 式宮殿のヴェルサイユ宮殿は、フランス絶対王政の象徴であった。

14世紀後半から15世紀は、大砲などの火薬を使った兵器が登場し、城壁をいとも簡単に破壊したため、城砦の存在価値が失われていった。以降、城砦の建築様式は再編成され、城壁は分厚い土で作られ、大砲の標的になる高い建物は排除された。塔に変わる拠点として、稜堡と呼ばれる土塁が築かれた。新しいタイプの城である要塞は、ヨーロッパ各国で研究され、特にフランスでは、築城技師ヴォーバンにより、リール要塞など、高度な要塞が次々に築かれた。

これらの要塞も戦略と戦術の発展により無力化し、19世紀頃には次第に廃れていった。技術の発達で戦車や飛行機を生み出し、強力な大砲や爆弾は城砦を軽々と打ち破ることができたが、戦争の勝敗を最終的に決するのは歩兵による国土の制圧であった。この歩兵の侵攻を防ぎ、国土の安全を守るために登場したのが、コンクリートを用い、地下に設けられた軍事要塞である。第二次世界大戦時のマジノ線要塞などは、軍事要塞の集合体とでも言うべきものであった。

【設問 I】 上記の文章の A ～ F 内に入るもっとも適当な語句を、記述解答用紙に記入しなさい。

【設問Ⅱ】 下線部①～④に関する以下の問の答えを、マーク解答用紙にマークしなさい。

問1 下線部①に関し、ヒッタイトに関する次の記述の内、誤っているものを1つ選びなさい。

- (a) インド=ヨーロッパ語系民族である。
- (b) 建設した王国の首都はボアズキョイに置かれた。
- (c) 前16世紀初め頃、バビロン第3王朝を滅ぼした。
- (d) 馬を使用し、早くから鉄製武器を用いた。
- (e) 前12世紀初め、「海の民」の侵入によって滅亡した。

問2 下線部②に関し、アテネに関する次の記述の内、誤っているものを1つ選びなさい。

- (a) 前8世紀半ばに貴族政に移行し、9人のアルコンがポリスを統治した。
- (b) 前6世紀末頃、クレイステネスはオストラシズムを創設した。
- (c) ペルシア戦争をササン朝ペルシアと3回にわたり戦った。
- (d) ペルシアの再攻に備え、前478年頃、デロス同盟を結成した。
- (e) ペロポネソス戦争で、ペルシアの支援を受けたスパルタに敗北した。

問3 下線部③に関し、ゲルマン出身のオドアケルは、476年、西ローマ帝国を滅ぼして自身の王国を建てたが、この王国を滅ぼしたのは、次の内のどれか。

- (a) ヴァンダル王国 (b) 西ゴート王国 (c) 東ゴート王国
- (d) フランク王国 (e) ブルグンド王国

問4 下線部④に関し、ノルマンディー公国を911年に建国したのは、次の内の誰か。

- (a) アルフレッド大王 (b) クヌート (c) ピピン
- (d) リューリク (e) ロロ

問5 下線部⑤に関し、ロンドン塔に幽閉されて、後に処刑された一人にトマス=モアがいるが、次の内、彼の著作はどれか。

- (a) 『カンタベリ物語』
- (b) 『愚神礼賛』
- (c) 『随想録』
- (d) 『ユートピア』
- (e) 『ガルガンチュアとパンタグリユエルの物語』

問6 下線部⑥に関し、十字軍に大きな影響を与えた当時のローマ教皇に関する次の記述の内、誤っているものを1つ選びなさい。

- (a) ウルバヌス2世は、グレゴリウス改革など11世紀以来に教会刷新運動の中心であったクリュニー修道院の出身である。
- (b) ウルバヌス2世は、1195年、クレルモン宗教会議を招集した。
- (c) インノケンティウス3世は、カンタベリ大司教任免問題で、イギリスのジョン王を破門した。
- (d) インノケンティウス3世が破門したフランスのフィリップ2世は、カペー朝の王である。
- (e) インノケンティウス3世は、「教皇権は太陽であり、皇帝権は月である」との言葉でも有名である。

問7 下線部⑦に関し、この城を作ったコンラート司教など、12、3世紀のドイツでは、司教が所有する都市や城砦が多く見られたが、このような教会勢力を保護することによって大諸侯に対抗しようとした神聖ローマ帝国初代皇帝は、次の内の誰か。

- (a) オットー1世
- (b) カール大帝
- (c) カール=マルテル
- (d) ハインリヒ1世
- (e) フリードリヒ1世

問8 下線部⑧に関し、ヴェルサイユ宮殿に対抗し、オーストリアのハプスブルク家がウィーン郊外に建てた宮殿は、次の内のどれか。

- (a) アルハンブラ宮殿
- (b) サンサーシ宮殿
- (c) シェーンブルン宮殿
- (d) トプカプ宮殿
- (e) テュイルリー宮殿

問9 下線部⑨に関し、火薬と共に、羅針盤と活版印刷術がこの時代の三大発明（正確には改良）と言われることもあるが、これらに関する次の記述の内、誤っているものを1つ選びなさい。

- (a) 火薬は漢代に実用化され、イスラーム世界を経て、13世紀にヨーロッパに伝わった。
- (b) 火薬は大砲や鉄砲に使用され、戦法の変化から騎士階級の没落を促した。
- (c) 羅針盤は宋代に実用化され、その後、14世紀初頭、イタリアで改良され、ヨーロッパ人の海外進出に大きな影響を与えた。
- (d) 活字印刷は宋で始まり、ヨーロッパでは15世紀中頃に鉛と錫の合金活字が発明され、活版印刷術が開発された。
- (e) ドイツの活版印刷術の創始者のグーテンベルクは、『四十二行聖書』などの印刷物で有名である。

問10 下線部⑩に関し、リール要塞を作ったルイ14世は多くの侵略戦争を行ったが、次の内、ルイ14世が関わっていない戦争はどれか。

- (a) オーストリア継承戦争
- (b) オランダ侵略戦争
- (c) スペイン継承戦争
- (d) ファルツ戦争
- (e) 南ネーデルラント継承戦争

問11 下線部⑪に関し、第二次世界大戦に関する次の記述の内、誤っているものを1つ選びなさい。

- (a) 1939年、フィンランドの訴えにより、ソ連は侵略国として国際連盟を除名された。

- (b) ドイツ軍の猛攻の危機に際して、イギリスではチェンバレンと交代してチャーチルが首相になった。
- (c) 1940年、占領されたパリから逃れたド=ゴールは、ロンドンに自由フランス政府を樹立した。
- (d) 1942年、太平洋戦争開始とともに、ドイツとイタリアは対米宣戦を行った。
- (e) ムッソリーニ失脚後、イタリアの新政権であるバドリオ政権は、ドイツに宣戦した。

II 次の文章を読んで、下記の設問に答えなさい。(32点)

「三国志」の物語は日本でも広く親しまれているが、今日、日本でふつうに「三国志」といわれているものは、実は14世紀の人、羅貫中の作とされる『三国志演義』という小説である。『三国志演義』は三国時代に取材した中国の代表的歴史小説で、曹操、劉備、諸葛亮、関羽、張飛などの英雄豪傑の活躍を題材としたものである。以下の文章は『三国志演義』が中国の人々にどのように読みつがれてきたかについて述べたものである。

王若望(1918—2001、中国の評論家、作家)の父は、上海からやや奥に入った地方都市、常州近郊の、とある小学校の教師で、王若望はその学校の生徒であった。この教育熱心な田舎教師は、授業がおわると、毎晩近くの村民をあつめ、講釈をして聞かせるのが楽しみであったらしい。講釈の内容は、『聊齋志異』の怪奇譚などさまざまであるが、なんといっても人気の高かったのは、「三国志」である。

時はあたかも辛亥革命によって満州人の清王朝がたおれたのち、各地に軍閥の割拠する乱世である。辛亥革命の指導理念であった孫文の三民主義にすっかり共鳴したこの田舎教師は、ある時から「三国志」のまゝに三民主義の話を村人にして聞かせるようになったのである。

王若望によれば、彼の父の三民主義の講話は、「三国志」にまけずおとらず村人の興味をひいたようである。王若望少年自身も、大人たちにまじって、熱心に父の話に耳を傾けたであろうことは言うまでもない。

このささやかなエピソードは、「三国志」、正確にいえば小説『三国志演義』という書物が、中国の民衆にとってどのような意味をもっていたかを、われわれに物語っているであろう。

村人にとって、三民主義が「三国志」におとらず面白かったということは、逆にいえば、「三国志」は、三民主義と同じように、時代の成り行きとそのなかでの個人の生き方を見定めるうえで、人々の指針となりうる面があったということにほかならない。その意味で、小説『三国志演義』は、たんなる小説をこえた小説であった。

中国の数ある小説のなかで、もっとも広く人々に愛された作品は『三国志演義』と

(A)『水滸伝』であろう。しかし、この両者のなかでさらにひとつを選ぶとすれば、読みつがれ、語りつがれた時間の長さから言っても、また上は権力者から下は暗黒社会の秘密結社にいたるまで幅広く浸透した影響力の強さから言っても、軍配は自ずと『三国志演義』の側にあがらざるをえない。

明代、北京の紫禁城の大奥では、おもにそこではたらく宦官たちの教養と娯楽のために出版が行われていた。もし読書好きであれば、皇帝もむろんその読者のひとりとなりえたであろう。明代後期の宦官、劉若愚が著した『酌中志』に、当時の宮中出版リストが載っているが、(B)『資治通鑑』や『孝経』『古文真宝』などの教養書とならんで、小説として唯一『三国志通俗演義』(『三国志演義』の正式名称)が選に入っている。劉若愚によれば、宦官たちがもっとも愛読したのは、その『三国志通俗演義』であった。

一方、(A)明代末期の農民一揆軍の首領で、四川に入り大虐殺を行ったことで悪名の高い張献忠は、(B)『三国志演義』そして『水滸伝』を日頃から人に語らせ、作戦の参考にしていたという。またその張献忠の部下の李定国は、やはり『三国志演義』の講釈を聞いて翻然と旧非を改め、その後は関羽、張飛をもって自ら任じ、王室のために忠義を尽した。

それとほぼ同じ頃、うちつづく農民の反乱などによってすっかり疲弊した中国を、(C)東北の一隅から虎視眈々とねらっていた満州人は、『三国志演義』を満州語に訳して、配下の武将たちに読ませていたのである。彼らは、中国を征服する前段階としてまず隣りのモンゴル人を懐柔するために、自らを劉備に、モンゴル人を関羽にたとえて桃園の義(劉備・関羽・張飛の3人が義兄弟の契りを結び、生死を共にすることを誓ったという逸話)を結び、関羽の義勇をしきりにたたえることによって、モンゴル人の歓心を買うという手段をさえとったと言われる。のちに満州人の清朝が関羽を尊崇したのは、ひとつにはモンゴル人対策であったことになろう。その(7)清朝の統治の転覆と、(5)明朝の復興をひそかにたくらむ中国人の秘密結社が、これまた桃園結義の原理によってうごいていたのであるから、なんとも面白い。

そして現代、中華人民共和国と人民解放軍の創立者、毛沢東が、子供のころ学校で教科書の下にかくして(2)『三国志演義』を耽読したことは、(6)エドガー・スノー(1905—1972、アメリカのジャーナリスト)の『中国の赤い星』が証言するとおりである。彼

がのち、その著書のなかに好んで『三国志演義』を引用することもよく知られている。彼もまた『三国志演義』を愛読し、それを自らの戦略の糧とした指導者のひとりであった。

このように、さまざまな時代、さまざまな階層の人々によって、『三国志演義』が実際の戦略、もしくは政略のための書として読まれたのは、そこに中国人の世界観と歴史観、乱世に身を処す個人の倫理意識、それを生きぬくための智慧、そしてそのなかでとるべき生き方のさまざまなモデルが集約的に、しかも無類の面白さをもって語られているからにはかならない。

まことに『三国志演義』こそは、中国と中国人を知るための必読の書と言わねばならないであろう。そしてそれは、必ずしも過去の中国のみに局限されるものではなく、現在および未来の中国についても当てはまると思える。

(金文京『三国志演義の世界 東方選書 25』(東方書店)による。一部改変した。)

【設問 I】 上記文章の下線部①～③に関する以下の問の答えを、マーク解答用紙にマークしなさい。

問 1 下線部①に関連し、王若望は中国の民主化運動に参加し、1989年に起こった天安門事件〔第2次〕の後、逮捕された。この天安門事件〔第2次〕と異なる年の出来事を、以下の中から1つ選びなさい。

- (a) アジア太平洋経済協力会議 (A P E C) が創設された。
- (b) 東ドイツがベルリンの壁を開放し、東西ドイツ間の交通制限を解除した。
- (c) ルーマニア全土にデモが拡大し、チャウシェスク政権が崩壊した。
- (d) ソ連と東欧諸国が N A T O に対抗する軍事同盟として、1955年に組織したワルシャワ条約機構が解体した。
- (e) ブッシュ、ゴルバチョフ両首脳が地中海のマルタ島で会談し、冷戦の終結を宣言した。

問2 下線部②に関連する以下の記述のうち、誤っているものを1つ選びなさい。

誤っているものが無い場合は(e)を選びなさい。

- (a) 1911年、清朝がだした鉄道国有令に反対し、四川で暴動がおこった。こうした情勢下で、武昌の軍隊のなかにいた革命派が蜂起し、辛亥革命がはじまった。
- (b) 清朝最後の皇帝である宣統帝(溥儀)は、辛亥革命で1912年に退位した。のち、日本が満州国を建設すると、満州国の皇帝にまつりあげられた。
- (c) 辛亥革命で独立を宣言した各省の代表は、孫文を臨時大総統に選出し、南京で中華民国の建国を宣言した。中華民国はアジア初の共和国である。
- (d) 1913年に袁世凱が正式に中華民国の大総統に就任したが、国民党を解散し、国会を停止するなどして独裁を強めていった。後に帝制復活を宣言したが、内外の反対が強く、国内では第三革命が起こったため、帝政取り消しの表明を余儀なくされた。

問3 下線部③に関連する以下の記述のうち、誤っているものを1つ選びなさい。

誤っているものが無い場合は(e)を選びなさい。

- (a) 海禁を犯して東南アジア方面に移住した華僑は過酷な労働に従事したが、現地で経済的に成功したものも多かった。孫文は華僑などの支援を受け、ハワイで興中会を結成した。
- (b) 中国同盟会は1905年に北京で結成された。三民主義、四大綱領を基本方針とし、機関誌『民報』を発刊して革命思想の普及に努めた。
- (c) 孫文が提唱した中国革命の基本理念である三民主義は、民族主義・民権主義・民生主義の三つの主義を指すが、そのうち民生主義とは、貧富の差を抑制し、土地所有の不平等を是正しようとしたものである。
- (d) 中華革命党は孫文が東京で結成した秘密結社で、五・四運動の後に大衆的政党をめざして中国国民党と改称した。

【設問Ⅱ】 上記文章の点線部(A), (B)に関する以下の問の答えを、**記述解答用紙**に記入しなさい。

問1 (A)は中国の代表的長編小説で、108人の正義の豪傑の武勇物語である。この物語は主として中国のどの王朝の時代を描いたものか。その王朝名を答えなさい。

問2 (A)と同じく中国の代表的長編小説で、玄奘のインド旅行を題材とし、明の時代に呉承恩が完成した、とされるものは何というか。その小説の名を答えなさい。

問3 (B)の歴史書を編纂した政治家であり歴史家である人物は誰か。その人物の名を答えなさい。

問4 (B)の歴史書に代表される、年月を追って事件を記す歴史記述法を何体というか。

【設問Ⅲ】 上記文章の波線部(あ)~(お)に関する以下の問の答えを、**記述解答用紙**に記入しなさい。

問1 波線部(あ)に関連し、明末の農民反乱のリーダーで、1644年に北京を攻略して明を滅ぼし、大順国をたてたが、まもなく呉三桂らが先導する清朝の軍隊にうたれたのは誰か。その人物の名を答えなさい。

問2 波線部(い)に関連し、太祖ヌルハチがたてた満州族の国で、のちに「清」と改称される国をなんと言いか、その国の名を答えなさい。

問3 波線部(う)に関連し、明の遺臣で1661年台湾のオランダ勢力を破り、台湾を拠点に清に反抗した武将は誰か。その人物の名を答えなさい。

問4 波線部(え)に関連し、のちに人民解放軍となる紅軍が、国民党の圧迫を受けて行った、約1万2500キロに及ぶ陝西省北部への大移動を何と呼ぶか。

問5 波線部(お)に関連し、毛沢東が主席となった中華ソヴィエト共和国の首都はどこにおかれたか。その地名を答えなさい。

【設問IV】 上記文章の二重線部(ア)に関連し、以下の出来事は清を統治したいずれの皇帝の時代に起こった事か。第3代皇帝順治帝（世祖）の時代であれば(a)を、第4代皇帝康熙帝（聖祖）の時代であれば(b)を、第5代皇帝雍正帝（世宗）の時代であれば(c)を、第6代皇帝乾隆帝（高宗）の時代であれば(d)を、それ以外の皇帝の時代であれば(e)を、それぞれマーク解答用紙にマークしなさい。

- ① 漢人武将の呉三桂らが三藩の乱を起こした。
- ② キリスト教の布教を全面的に禁止した。
- ③ ロシアとネルチンスク条約を結んだ。
- ④ ロシアとキャフタ条約を結んだ。
- ⑤ オイラトの一部族であるジュンガル部が滅亡した。
- ⑥ 清代の軍事行政上の最高機関である軍機処が設置された。
- ⑦ 北京への遷都が行われ、北京が清朝の都となった。
- ⑧ 東トルキスタンの周辺地域が清朝の支配下に組み込まれ、「新疆」と命名された。

Ⅲ ドイツとロシア，ソヴィエト=ロシア，ソ連の【年表】に関連して，下記の設問に答えなさい。(34点)

【年表】

	ドイツ	ロシア，ソヴィエト=ロシア，ソ連
1871年	ヴィルヘルム1世ドイツ皇帝に即位	
1873年	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;"> ア 同盟結成 </div>	
1875年	ドイツ社会主義労働者党結成	
1878年	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;"> イ 会議開催 </div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;"> ウ 条約締結 </div>
	② 社会主義者鎮圧法制定	③
1881年	アレクサンドル2世暗殺	
1887年	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;"> ドイツとロシア，再保障（二重保障）条約締結 </div>	
1888年	ヴィルヘルム2世ドイツ皇帝に即位	
1890年	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;"> ドイツ，ロシアとの再保障（二重保障）条約を更新せず </div>	
	ドイツ社会主義労働者党，ドイツ社会民主党と改称	
1891年		④ <u>露仏同盟成立</u>
1899年	⑤ <u>バグダード鉄道敷設権</u> を獲得	
1901年		社会革命党結成
1903年		ロシア社会民主労働党結成
1905年		血の日曜日事件
		⑥ <u>ポーツマス条約</u>
		十月宣言（勅令）
1907年		英露協商成立
1912年	ドイツ社会民主党，議会第一党となる	
1914年	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;"> タンネンベルクの戦い </div>	
1917年		ニコライ2世退位 十月革命（十一月革命）

1918年	ドイツ共和国成立	ボリシェヴィキの一党支配確立
	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;"> エ 条約締結 </div>	
	⑦	
1919年	エーベルト大統領就任 アルザス・ロレーヌをフランスに割譲	コミンテルン結成
1922年	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;"> <u>ラパロ条約締結</u> </div>	
	⑧	
1923年	ミュンヘン一揆	ソヴィエト社会主義共和国連邦結成
		⑨
1925年	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;"> オ 条約調印 </div>	
	⑩	
1926年	国際連盟加入	
1928年		第1次五カ年計画実施
1932年	総選挙でナチス第一党に	
1933年	全権委任法成立	第2次五カ年計画実施
1934年		国際連盟加入
1935年	<u>英独海軍協定締結</u>	仏ソ相互援助条約締結
	⑪	
1936年		スターリン憲法制定
1938年	ミュンヘン会談	
1939年	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;"> 独ソ不可侵条約締結 </div>	
	ドイツ軍ポーランド侵攻	ソ連軍ポーランド侵攻
1940年	日独伊三国（軍事）同盟結成	
1941年	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;"> <u>日ソ中立条約締結</u> </div>	
	⑫	
	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;"> 独ソ戦争開戦 </div>	
1942年	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;"> スターリングラードの戦い </div>	
1945年	ベルリン陥落	
	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;"> アメリカ、イギリス、フランス、ソ連によるドイツ分割占領 </div>	
	ソ連、対日宣戦	

【設問Ⅰ】 上記年表中の ～ 内に入るもっとも適切な語句を記述
解答用紙に記入しなさい。

【設問Ⅱ】 以下の ～ 内に入るもっとも適切な語句を記述解答用
紙に記入しなさい。

問 1 下線部①の同盟は、フランスの復讐を警戒するビスマルクが中心になって、
ドイツのヴィルヘルム 1 世、 のフランツ=ヨーゼフ 1 世およびロシ
アのアレクサンドル 2 世によって結ばれた。

問 2 ビスマルクが調停に立って開催された下線部②の会議は、トルコとの間に
結ばれた下線部③の条約の結果に対して、オーストリア・ とロシ
アとの対立が深刻になり、国際的な危機が高まったことを受けたものであ
った。

問 3 下線部④の同盟は、1882 年にドイツなどによって結ばれた へ
の対抗策であった。

問 4 下線部⑤はドイツのいわゆる 3 B 政策の一環である。この 3 B とは、三つ
の重要な都市の頭文字をとったものであるが、その都市とは、ベルリン、バ
クダード、 である。

問 5 下線部⑥の条約によってロシアは日本に対して、 鉄道とその沿
線の権益を譲渡した。

問 6 下線部⑦の条約の結果、ソヴィエト=ロシアは戦争から単独で離脱し、
ポーランド、ウクライナおよび北欧の などの領土を失った。

問 7 下線部⑧の条約は、 中に与えた損害に対する請求権を相互に放
棄する内容を含んでいた。

問8 下線部⑨の連邦に加わったのは、ロシア、、ベラルーシ（白ロシア）、ザカフカースの4ソヴィエト共和国であった。

問9 下線部⑩の条約は、7カ国による地域的集団安全保障協定であり、ラインの非武装化と相互不可侵を約した。この協定の成立には、1923年に首相に就任したによる協調外交の展開が大きな役割を果たした。

問10 下線部⑪の協定において、イギリスはドイツに対して一定数の軍艦と潜水艦の保有を認め、結果として条約を無視し、ドイツの再軍備を許容することになった。

問11 下線部⑫の条約にもかかわらず、ソ連は1945年2月の会談で、ドイツ降伏後3カ月以内の対日参戦を表明した。

【設問Ⅲ】 ドイツとロシア、ソヴィエト=ロシア、ソ連に関する以下の事項のうち最も早い時点で起こった事柄と最も遅い時点で起こった事柄をそれぞれ一つ選びなさい。答えはマーク解答用紙にマークしなさい。

- | | |
|----------------|-----------------|
| (a) ネップ | (b) バルト3国併合 |
| (c) ベルリン=ローマ枢軸 | (d) テヘラン会談 |
| (e) コミンテルン解散 | (f) ドイツ休戦協定（条約） |
| (g) ルール占領 | (h) 「平和に関する布告」 |
| (j) ニュルンベルク裁判 | (k) イギリスのソ連承認 |

